

皆さん、突然ですが「Society (ソサイエティ) 5.0」をい存じですか？

本誌の特集ページでもご紹介しておりますが、Society 5.0の実現は、食料問題や人手不足をはじめ、予期せぬ今回のコロナのようなウイルスによる被害や災害など、世界中のさまざまな課題解決に期待されております。本市でも、ウィズコロナ時代の今だからこそ、長期的な視点で取り組むことが重要だと私は考えております。

「今はそんなことより、コロナ対策が一番ではないか」といったご意見があるかもしれませんが。しかし、少し考察してみてください。もし、新型コロナウイルスが起る以前に、テレワークやオンライン診療、遠隔授業などといった生活様式が社会に定着していたら、今回のコロナによる被害は、抑制できたかもしれません。言い換えれば、ウィズコロナ時代だからこそ、新しい生活様式を定着させるために、新たな社会である Society 5.0 の本格的実現に向けた取り組みが必要です。本市の伏見台地域では、市内で最も高齢化・人口減少が進んでおり、有効な交通手段がなく、困っている方が多いことから、地域住民が主体となって地域内無償送迎サービスを実施しています。コロナ禍の中、その困りがより一層顕在化

しました。そこで、地域内交通の利便性をさらに高めるため、Maas (マアス) さまざまな種類の交通サービスを、利用者の希望に応じて利用できる一つのサービスに統合する技術) の取り組みを始めました。それらはウィズコロナ時代に向けての第一歩です。最先端技術で課題解決を図るまち池田をめぐり、今後は伏見台地域のみならず、本市全域の課題解決のための取り組みを拡充するとともに、住民サービスの向上に努めてまいります。

さて、今年も残すところ2カ月となりました。市役所では、コロナ対策を含めた、令和3年度の予算編成作業に取り掛かっております。市民の皆さんが日々楽しく、元気で健やかに過ごしていただけてますよう、職員一丸となって、引き続き努力精進させていただくことをお誓い申し上げます。今月の「いけだニュースエクスプレス」といたします。



池田市長 富田 裕樹

今月の表紙



労働者不足などの社会問題を解決するにはAIなどの先端技術は欠かせません。Society 5.0の社会では、未来を見据え、AIなどを活用したまちづくりをめざします。

池田市ホームページ
<http://www.city.ikeda.osaka.jp/>

広報 **いけだ**

2020. 11

目次

2~5	特集 Society 5.0の世界へ挑戦 池田の未来を見据えたまちづくり
6~8	市政トピックス 「文化の日」に市政功労者を表彰／保育所などの新規入所申し込み／池田市の未来を語るサロン／総合計画審議会委員を募集／ご注意くださいコロナ禍でのインフルエンザ流行期
10~22	市からのお知らせコーナー 募集、催し、税金・保険年金、産業・仕事、環境・安全、相談・その他、福祉、高齢者、健康、スポーツ
23~27	子育て情報 いけ抱っ子
28	伝言板
29	市民文化会館の催し
30	池田報道 市民記者が行く！
31	ときの輝き
32~34	市政トピックス 準防火地域の指定区域の拡大について／市ホームページ携帯サイトを終了します／ふくまる健康体操2020完成！／「池田市空き家バンク」制度のご案内／STOP! 女性への暴力／1世帯当たり4,000円の電気料金を給付／妊婦特別定額給付金の申請／入賞作品決まる 明るい選挙啓発ポスター
35	くらしの窓口／健康相談Q&A

募集

10

催し

11

税金・保険年金

14

産業・仕事

15

環境・安全

16

相談・その他

16

福祉

19

高齢者

19

健康

20

スポーツ

21

子育て

23